

CO₂資源化サービスをTAKANAWA GATEWAY CITYへ国内初導入 ～ガス機器排気中のCO₂をリサイクルして作った洗剤を街の中で利用～

東京ガス株式会社

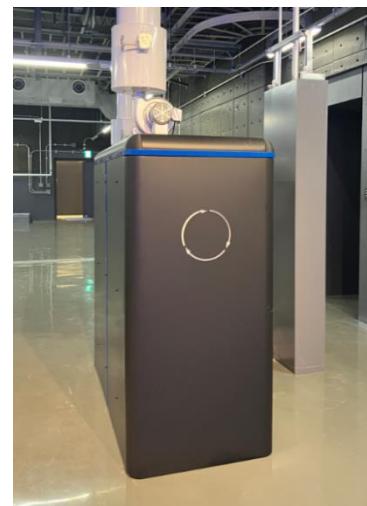
東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

東京ガス株式会社（社長： 笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、東日本旅客鉄道株式会社がまちづくりを手掛ける TAKANAWA GATEWAY CITY^{*1}に、ガス機器排気中の CO₂をリサイクルし、洗剤等の原料となる炭酸塩^{*2}をオンラインで製造する「CO₂資源化サービス」^{*3}を日本で初めて導入します。サービス提供開始は 2026 年 4 月を予定しており、運用は東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（社長： 小西 康弘、以下「TGES」）が行います。

東京ガスおよび TGES は、東京ガスが所有する CO₂回収装置（CleanO2 社製 CarbinXTM）を TAKANAWA GATEWAY CITY 内「THE LINKPILLAR 2」のエネルギーセンターに設置し、ガス機器の排気に含まれる CO₂の一部を水酸化物と反応させることによって炭酸塩を製造します。製造した炭酸塩は洗濯用洗剤の原料となり、TAKANAWA GATEWAY CITY のくらしの中で利用される予定です。このカーボンリサイクル^{*4}の取り組みは、サーキュラーエコノミーの実現に向けた新たなモデルケースとしても期待されます。



TAKANAWA GATEWAY CITY における
カーボンリサイクルのイメージ



設置した CO₂回収装置（CarbinXTM）

東京ガスグループは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム^{*5}構築」ならびに「CO₂ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。一人ひとりの暮らしから地域社会にいたるまでの多様な課題を解決するさまざまなサービスを創出・提供し、お客さまとともにカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

東京ガスグループは、創立 140 周年を迎えました。東京を越え、ガスを越え、未来を先取りする企業として挑戦を進めていきます。

【IGNITUREについて】



東京ガスとTGESは、「ソリューションの本格展開」に向けソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンスの向上などでサステナブルな生活・事業」を無理なく両立できます。

※IGNITUREの詳細は[こちら](#)

*1: [TAKANAWA GATEWAY CITY 公式Webサイト](#)

*2: 炭酸カリウム、炭酸水素カリウム、炭酸ナトリウム等

*3: [日本初となるオンサイトでの「CO₂資源化サービス」を開始！（2023年10月25日発表）](#)

*4: CO₂を有価物（資源）として捉え、新たな別の有価物に転換し再利用すること。製品等のサプライチェーン全体で従来通りの方法と比較してCO₂の排出を全体として抑制することができるため、カーボンニュートラル社会実現への貢献が期待されている。

*5:多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

以上